

## 国土強靱化地域計画策定ガイドライン（第4版） 主な改訂内容（案）

全体を通じて、すべての都道府県が策定済み・策定に着手したことを踏まえ、第3版同様、市町村の策定が円滑に進められることに重きを置いた改訂を実施。

特に、計画策定のメリットを知りたいという声もあることから、平成28年度に地域計画策定効果等に関するフォローアップ調査を行い整理した交付金・補助金の活用事例や地域計画策定済団体の声を新たに掲載するなど、充実を図った。

なお、読者は、初めて、国土強靱化施策を担当する市町村職員を想定

### 主な改訂内容

- (1) 関係府省庁の交付金・補助金の活用事例を新たに掲載  
地域計画に基づき実施される取組に対する関係府省庁の交付金・補助金の活用事例を掲載（136頁）
- (2) 地域計画策定済団体の声を新たに掲載  
(例)
  - ・ 策定過程で生まれた庁内の交流（39頁）
  - ・ 民間にも強靱化の動き（41頁）
  - ・ やって良かった脆弱性評価。意外な盲点を発見（69頁） 等
- (3) 地域計画の進展や策定済団体の実例等により得られた知見を充実  
(例)
  - ・ 総合計画等との関係をイメージ化（30頁）
  - ・ 「マトリクス」のイメージを活用した脆弱性評価の有効性（51頁）
  - ・ 地域の特性を踏まえたリスクシナリオ、施策分野の設定（63頁）
  - ・ 住民参加のワークショップを活用した手法（74頁） 等
- (4) 市町村向けの策定用ツールを新たに掲載  
策定済団体の地域計画を参考に、想定される自然災害やリスクシナリオの設定等の基本的な策定用ツールを掲載（84頁）
- (5) その他（時点修正等）

# (1) 関係府省庁の交付金・補助金の活用事例

## 警察庁所管の交付金・補助金の活用事例

### 【事例1】岐阜県(警察施設の耐震化)

#### 国土強靱化地域計画に定めた対応

○ 高山警察署の移転改築整備  
県内の警察署の中で最も古く、老朽化、狭隘化が著しい高山警察署について、現状の課題の解消を図るとともに、飛騨ブロックの「基幹防災拠点」として必要な機能を備えた警察署とするため、移転改築整備を実施する。

#### 活用した交付金・補助金

平成28年度 都道府県警察施設整備事業(警察庁)  
(事業費67百万円/国費19百万円)

#### 事業概要と効果

・大規模災害発生時に各種警察活動を迅速に行うため基幹防災拠点としての役割を果たす



イメージ図

### 【事例2】山口県(警察施設の耐震化)

#### 国土強靱化地域計画に定めた対応

○ 山口警察署の移転建替整備  
山口警察署は耐震化未整備であり、  
・警察本部の代替施設として位置付けられているため、その機能を維持強化する必要がある  
・警察署は、災害対策の中核的な役割を担う施設としての機能を確保する必要があることから、建替整備する。

#### 活用した交付金・補助金

平成28年度 都道府県警察施設整備事業(警察庁)  
(事業費95百万円/国費23百万円)

#### 事業概要と効果

・大規模災害発生時に警察本部の代替施設及び災害対策拠点としての機能を果たす



イメージ図

### 【事例3】北海道(特定交通安全施設等整備事業)

#### 国土強靱化地域計画に定めた対応

○ 住民等への情報伝達体制の強化  
光ビーコンや交通情報板など車両への交通情報の提供設備や停電時の信号機の機能停止を防止する信号機電源付加装置について、緊急交通路等における設備の更新を優先するなど、計画的な整備を推進する。

#### 活用した交付金・補助金

平成28年度 特定交通安全施設等整備事業に係る補助金(警察庁)  
(事業費1億13百万円/国費56百万円)

#### 事業概要と効果

・交通情報板 2基  
災害時の交通規制情報等を提供  
・監視用テレビ 3台  
災害時の渋滞状況等を把握  
・信号機電源付加装置 10基  
停電時の信号機の機能停止を防止



信号機電源付加装置

## (2) 地域計画策定済団体の声

### 〔参考〕策定済団体の事例

徳島県	<p>① 庁内での作業として「起きてはならない最悪の事態」ごとに、それを回避するために庁内の各部局が取組を進めている施策を、5つの施策分野に分けて抽出。併せて、横断的分野についても抽出。</p> <p>② 担当部局から、県内市町村、民間事業者及び国等に対し、アンケートにより、取組を進めている施策に関する概要の提出を依頼。</p> <p>③ 担当部局において、①及び②のとりまとめを実施。</p> <p>④ 「起きてはならない最悪の事態」ごとの施策群について、庁内各部局が、それぞれの施策について、脆弱性評価及び重要業績指標の設定を実施。</p> <p>⑤ 担当部局において、④についてのとりまとめ（評価結果の集約・精査等）を行い、その後、各部局に対して確認依頼を実施し、評価結果を確定。</p> <p>※この際、県の施策のみならず、県内市町村、民間事業者、国の施策を把握し、抽出・整理しています。</p>
-----	---

### 〔参考〕策定済団体担当者の声

— やって良かった脆弱性評価。意外な盲点を発見 —

「当市は、複数の市町が合併して誕生しています。脆弱性評価を行ったところ、それぞれの市や町で合併前に建設した設備が「老朽化」の時期に来ているということが改めて浮き彫りとなりました。これまでの行政計画は、どちらかという、新たな事業を推進するものが中心だったということですかね。古いものをどうするか、という点は、先へ先へと意識が向いていると抜けてしまうのかもしれない。脆弱性評価でそこに気づいたのはとても良かったです。

また、非常時における飲料水の確保という対策はかなり進んでいたのですが、トイレや風呂に使用する生活用水という点からすると脆弱だということが明らかになりました。上水道の耐震化が平成 25 年度時点でも 9.4%しか進んでいなかったのです。これはまずいということでここも重点化することにしました。

逆に、これまで重点課題かと思っていた項目が実は、かなりしっかり対策がとられていることに気がきました。例えば、情報インフラ対策については、既に防災通信機器の設置などが進んでいることがわかったので、重点化施策からは除きました。

このように、脆弱性評価を部局横断の視点で行うことで、見過ごしていた課題がはっきりとして、共通課題として庁内全体で取り組むことができています。」

### (3) 地域計画の進展等により得られた知見を充実

②STEP2 で設定した「施策分野」を入れる

(マトリクスのイメージ図)

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態	行政機能／警察・消防等	住宅・都市	保険医療・福祉	エネルギー	金融
大規模自然災害が発生した時でも人命の保護が最大限図られる	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生					
	不特定多数が集まる施設の倒壊・火		・公立社会体育施設の耐震化 ・住宅・建築物の耐震化の促進			
	親多生るな					
	・に給					
大規模生直救急が迅速に行われる	の長期停止					
	多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生					

①左列に STEP1 で設定した「事前に備えるべき目標」、右列に STEP2 で設定した「リスクシナリオ」を入れる

③一つ一つが「要素」。現在実施している施策の情報を得て、当該施策が関連する要素に記載していく

- その際、縦軸にリスクシナリオ（「起きてはならない最悪の事態」）、横軸に強靱化施策分野を配置した「マトリクス」（前頁イメージ図参照）を作成し、縦横軸の交差する各枠に既にある施策を記載していきます。
- この「マトリクス」の作成により、個々のリスクシナリオ（「起きてはならない最悪の事態」）に対する施策を確認（「見える化」）できるため、施策に漏れはないか、関連する施策の進捗状況に齟齬をきたしていないか等の分析を行う際に、極めて有効な手法であると考えられます。
- 既にある施策を記載する際には、一見、強靱化とは直接関係の無いように見える従来の施策であっても、すべていずれかの要素に記載します。これは、現状は強靱化を目的としていない施策であっても、その施策を強靱化の観点から見直したとき、いずれかのリスクシナリオが発生する要因を取り除くことにつながる可能性があると考えられるからです。
- このように施策を整理したマトリクスをリスクシナリオごとに横断的に見ていくと、現時点における当該リスクシナリオに対する施策群（＝プログラム）として確認することができます。
- これによって施策群として見ていくと、リスクシナリオが発生する要因に対して不足しているところ（＝脆弱性）が浮かび上がってきます。

# (4) 市町村向けの策定用ツール

## VI 策定用ツール

ここでは、実際に策定のSTEPを進めるために活用できるツールを紹介します。これらは原則、市町村での策定を前提とします。またツールはあくまでも参考ですので、自団体向けに適宜変更してご活用ください。

なお、電話等でご連絡いただければ策定用ツールをお送りいたします。

### 1. 全体のイメージ

「Ⅲ 策定手順とそれぞれの策定手法」の「2. 国土強靱化地域計画策定の基本的な進め方」において、STEP1 からSTEP5 まで順を追って説明した内容をイメージ図にまとめると、以下のような全体像になります。この手順に沿ってツールを紹介します。

(全体イメージ図)

